

叡啓大学 2025 年度入学者選抜（春入学）  
（総合型選抜・留学生選抜、学校推薦型選抜）

グループディスカッション

1 テーマ

日本の学校では4月に新学年が始まり、7月下旬～8月に夏休み、年末年始に冬休み、年度末の3月に春休みを設けて長期休業期間を置くことが一般的な学年暦<sup>1</sup>（学校暦、年間行事予定など、名称は学校により異なる）とされています。また、小学校および中学校では、授業を年間35週以上行うことが、国により<sup>2</sup>定められています。

これらの休みは、公立学校は各自治体の教育委員会、私立学校は各学校において休業日を定めており、その土地の気候や風土等により期間が異なります。近年の社会・自然環境の変化により、必ずしも夏季に長い学校休業期間を取ることが最適ではないとの意見も増えています<sup>3,4</sup>。

これからの日本の学校における学年暦はどのように設定すると良いでしょうか。あなた方が、広島市教育委員会に、小学校の学年暦を提案する依頼を受けたと仮定し、以下に例として挙げるような社会・自然環境の変化を踏まえ、どのように設定すべきか、あるいは現状から変更しないほうが良いか、議論し、具体的な理由とともに、提案する「広島市立小学校の学年暦（案）」を作成してください。

議論を行うための参考資料として、叡啓大学が作成した「学年暦のサンプル」を提供します。グループでの議論および提案を行う際に、必要に応じて使用できます。

<学年暦のサンプル（Excel形式・PDF形式。いずれも同じ記載内容です。）>

● Excel形式

<https://docs.google.com/spreadsheets/d/1WnuOrGiOhwokf9Cfe0MxAC8WnVi0X96h/edit?usp=sharing&ouid=105600651401510466144&rtpof=true&sd=true>

● PDF形式

<https://drive.google.com/file/d/1jN5lvohPUNDA4JiUMuk-eng5ALMoilGB/view?usp=sharing>

<社会・自然環境の変化の例>

- ・ 気候変動（暑熱による影響の長期化、冬季の平均気温の上昇、小学校のエアコン設置率の上昇、省エネルギー推進・節電の必要性等）
- ・ 従来の休業期間設定の考慮事項であった農繁期の家事手伝いの減少
- ・ 貧困等、困難家庭の増加による、長期休業中の子どもの居場所や食費・光熱費等の負担および長期休業中の体験格差への懸念
- ・ 核家族化・共働き世帯増加による子どもの預け先不足
- ・ 夏休み等の長期休業明け直後に増加する児童生徒の不登校や深刻な不適應の懸念
- ・ 教員の超過勤務問題、働き方改革、なり手不足問題
- ・ 2学期制の導入校増加
- ・ 日本国外の学校の学年暦（新学年が4月以外に開始する国）との違い 等

（本文中の注釈）

1 広島市教育委員会「学校の入学式の日や休業日について知りたい。」、2019年10月21日更新

※広島市立の学校の休業日（令和6年度）に関するWebサイト

<https://www.city.hiroshima.lg.jp/site/education/16075.html>

2 文部科学省「授業時数等に関する学校教育法施行規則及び学習指導要領の規定」

[https://www.mext.go.jp/b\\_menu/shingi/chukyo/chukyo0/toushin/attach/1399930.htm](https://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chukyo/chukyo0/toushin/attach/1399930.htm)

3 認定NPO法人キッズドア「2024夏『困窮子育て家庭アンケートレポート』報告および緊急提言」、2024年7月1日

<https://kidsdoor.net/news/press/20240701.html>

4 読売新聞オンライン「9年で夏休みが14日も短くなった公立校、家計にも効果…『なぜ古賀だけ短いのか』の声に丁寧な説明」、2024年7月19日

<https://www.yomiuri.co.jp/kyoiku/kyoiku/news/20240718-OYT1T50248/>

(参考情報)

文部科学省「公立学校施設の空調(冷房)設備の設置状況について(報道発表)」、令和4年9月28日

[https://www.mext.go.jp/content/20220928-mxt\\_sisetujo-000025208\\_01.pdf](https://www.mext.go.jp/content/20220928-mxt_sisetujo-000025208_01.pdf)

江波山気象館「広島の実夏日日数」、2024年11月8日最終閲覧

[https://www.ebayama.jp/?page\\_id=11158](https://www.ebayama.jp/?page_id=11158)

(次ページに続く)

## 2 事前課題

「広島市教育委員会に、小学校の学年暦を提案する依頼を受けたと仮定し、社会・自然環境の変化を踏まえ様々な視点から検討した上で、どのように設定すべきか、あるいは現状から変更しないほうが良いか」について、あなたの考える「広島市立小学校の学年暦(案)」と具体的な理由をまとめ、1人3分以内(時間厳守)で発表する資料を作成してください。

## 「総合型・留学生選抜(春入学)／オンライン実施」を受験する方

## 【事前課題発表用資料の作成・発表方法】

- ・ 事前課題発表用資料は手書き、パソコンなど作成方法は問いません。また、用紙の種類やサイズ、枚数などは指定しません。
- ・ 資料や図表等を引用する場合は、必ず出典を記載してください。
- ・ 発表方法は、次のいずれかから自身の取り組みやすい方法を選んでください。  
なお、作成方法や発表方法については評価に影響しません。
  - 紙面をパソコン等のカメラに向けて提示し発表する。
  - Zoomの画面共有機能を用いて発表する。

## 「学校推薦型選抜／対面実施」を受験する方

## 【事前課題発表用資料の作成・発表方法】

- ・ 事前課題発表用資料は手書き、パソコンなど作成方法は問いません。また、用紙の種類やサイズ、枚数などは指定しません。
- ・ 資料や図表等を引用する場合は、必ず出典を記載してください。
- ・ 発表方法は、次のいずれかから自身の取り組みやすい方法を選んでください。  
なお、作成方法や発表方法については評価に影響しません。
  - 作成した発表用資料を紙媒体で当日持参し、提示しながら発表する。  
(必ず、事前に提出したものと同一発表用資料で発表してください。)
  - 事前に提出した発表用資料を用いて発表する。  
(発表のためのパソコン及びプロジェクターの準備は大学で行います。)
- ・ 表紙には、必ず受験番号を記載してください。(氏名や高校名は記載しないでください。)
- ・ 作成した発表用資料は、PDF形式のデータ(手書きの場合は写真データも可)で事前に提出してください。ファイル名は「受験番号・事前課題」にしてください。

提出期限：2024年11月29日(金)午前9時まで

提出方法：下記のURLにアクセスし、ファイルアップロードしてください。

URL：<https://forms.gle/HtYHHhWP9DhJnXBeA>

- ※ 期限までに提出されない場合は、第2次選考の受験を認めません。
- ※ 原則、提出は1人1回とします。提出した事前課題の差し替えはできません。複数提出した場合は、最初に提出されたファイルのみ受け付けます。
- ※ ファイルのアップロードを行うためには、Googleアカウントが必要です。Googleアカウントを持っていない場合は、新たにアカウントを作成してください。

## 3 グループディスカッションの進め方

- ・ 試験時間は90分です。試験は日本語で実施します。
- ・ ①個人発表、②グループ内での役割分担、③ディスカッション、④グループ発表の流れでグループディスカッションを行い、当日指定された時間までに、議論を終結させてください。
- ・ グループの人数は6人程度(予定)です。下記の【進め方の例】を参考に、議論の進め方や時間配分などについても、グループで決めてください。試験官は議論の進行に関与しません。
- ・ 他の人の発表の際には、各自でメモ等をしながら話を聞いてください。
- ・ 試験の最中に、資料等を参照してもかまいません。ただし、参照する資料は紙媒体で手元に準備しているものに限りです。
- ・ 試験終了10分前になったら、到達した結論または議論の過程について、試験官にプレゼンテーションを行ってください。全員が同じ結論に到達する必要はなく、複数の結論を含んだまとめでもかまいません。

## 【進め方の例】 ※時間は目安

## ① 個人発表(18分程度)

事前課題をグループのメンバーに発表する。

※ 発表時間は1人3分以内(時間厳守)

※ 他の人の発表の際には、他のメンバーは聞きながらメモ等を行う。

## ② 役割分担等(2分程度)

役割分担(司会、書記、タイムキーパー、発表者など)、議論の進め方や時間配分などについて、グループで話し合う。役割は議論の途中で交代をしても良い。

## ③ ディスカッション(60分程度)

個人の発表内容を踏まえ、「広島市教育委員会に、小学校の学年暦を提案する依頼を受けたと仮定し、社会・自然環境の変化を踏まえ様々な視点から検討した上で、どのように設定すべきか、あるいは現状から変更しないほうが良いか」について議論し、具体的な理由とともに、提案する「広島市立小学校の学年暦(案)」を作成する。

## (進め方のヒント)

- ・ 具体的なアイデアについて、様々な理由の妥当性や重要性、変更の必要性や有効性、既存の規則との整合性等を検討する。それぞれの発表を聞き、共通点や相違点を見出したり、異なる意見から折衷(せっちゅう)案を考えたりしましょう。
- ・ グループで、特に重要だと考えて議論する点はどのようなことでしょうか。
- ・ どんな変更を学年暦に加える、または変更せずに現状を維持することで、学校に関わる様々な人たち(児童、教職員、保護者、塾など学外の関係者、地域の人々など)にはどのような影響があるか考えてみましょう。
- ・ グループで提案する変更を実現したら、誰にとって、どのような形で、より良い仕組みになるか考えてみましょう。
- ・ グループの議論や提案、到達した結論がテーマに込んでいるかを考えてみましょう。

## ④ グループ発表(10分程度)

到達した結論とその理由について発表する。

※ 発表は複数人で行ってもかまわない。

※ 結論に到達できなかった場合には、議論の過程について発表しても良い。

## 4 グループディスカッションの注意事項

- ・ グループディスカッションで知り得た同じグループの受験者に関する情報を、他者へ伝えることは禁止します。
- ・ グループディスカッションの実施中に、受験者自身のプライバシーに関する内容を話題に挙げる場合は、受験者自身の責任において行ってください。

## 5 評価基準

本学は、次の基準でグループディスカッションを評価します。

評価観点	評価基準	アドミッション・ポリシー
姿勢・視野	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「グループディスカッションの進め方」をふまえて取り組んでいるか。</li> <li>・ 事前課題に積極的に取り組んでいるか。</li> <li>・ グループ内で出された異なる視点や情報を取り入れて、より良い案を生み出す姿勢が見られるか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 将来を見据え、目的意識を持って学修に取り組もうとする姿勢</li> <li>・ 自ら先頭に立ち、他者を巻き込んで様々な課題に取り組もうとする姿勢</li> </ul>
コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ グループで決めた役割を適切に担っているか。役割に応じた貢献をしているか。</li> <li>・ 異なる考えや価値観に理解を示し、他者と積極的にコミュニケーションを行っているか。</li> <li>・ 他者の話をよく聴いて、議論を円滑に進めようとしているか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 他者と積極的にコミュニケーションを行う姿勢</li> </ul>
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 事前課題について、伝えたいことを明確に、図表を用いて他の人にわかりやすく表現できているか。</li> <li>・ グループディスカッションの発言の中で知識や思考力があると感じられるか。</li> <li>・ 将来大きく伸びる可能性や伸びしろを持っていることを、強く感じさせるか。または、上記の評価観点・基準以外で特筆すべき良い点があるか。</li> </ul>	—